

# 放課後子ども教室だよ

## もとみや遊友クラブ訪問

令和2年12月18日(金)訪問

○開設年度	平成20年	○参加者	対象学年：1～2年生
○活動場所	本宮市立本宮小学校	○登録スタッフ	登録児童数：18名
○実施回数	22回	○登録スタッフ	14名 ※安全管理員・活動指導員の兼務
○実施時間	4時間 金曜日 (12:30～16:30)	○活動内容	工作や折り紙などの造形活動 おはなし会 キンボール 季節行事等

## かざりやもようを考えるのは 楽しいな!

もとみや遊友クラブでは、18名の子どもたちが元気に活動しています。

訪問当日の活動は、「クリスマスリース作り」でした。コーディネーターの清田さんは、ベースとなる形の作り方だけを教え、飾りや模様は、子どもたちが好きなように描くことができるようにしていました。子どもたちは、サンタの表情や飾り付けをどのようにするかと楽しみながら、作品を丁寧に仕上げていました。スタッフも、子どもたちが作る様子を見守り、必要に応じたサポートを行っていました。

子どもたちは、作り終えた作品を手にして「見てください。」とコーディネーターやスタッフのところへ駆け寄ります。子どもたちはスタッフに信頼を寄せています。

ホワイトボードには、子どもたちにも分かりやすいように、コーディネーターが事前に準備したリース用の飾りや、作り方の手順や見本が掲示してありました。子どもたちは途中で作り方が分からなくなると、説明図を見たり、友達に確認したりしながら作品を進めていました。

このような配慮の積み重ねによって、子どもたちの自力解決力が育まれていくということを実感した訪問でした。



## 情報共有を大切に

もとみや遊友クラブでは、スタッフ同士で情報共有することを大切にしています。必要に応じて活動開始前に話し合い、気づいたことに関して共通認識をもって子どもたちと関わっているそうです。

また、学校との連携づくりも心がけています。コーディネーターが毎回活動の前後に職員室に顔を出して声をかけるとともに、子どもたちの様子について気になることや困ったことがある時には、その都度担任の先生に相談しているそうです。欠席の児童がいた場合には、学校を通してお便りを配付していただくなど、学校も遊友クラブの活動に協力してくださっています。

コーディネーターは下校時の保護者へのあいさつや、情報交換も大切にしています。子どもたちに適切な関わりをするためには、学校、家庭、スタッフとの情報共有は不可欠です。

## コロナ禍における 活動のヒント

もとみや遊友クラブの活動場所は、小学校内にある多目的室です。教室の1.5倍ほどの比較的広い空間に間隔を空けて机を設置し、密にならないよう配慮しています。

新型コロナウイルス感染症予防対策としては、子どもたちとスタッフの検温、手指消毒、換気、マスク着用を行っています。訪問者も含め、会場内にいる人すべての名前と検温結果を把握し、安全管理を徹底しています。訪問当日は気温が低かったのですが、活動中もきちんと窓を開けて換気を行っていました。活動終了後にスタッフ総出で机などの消毒を丹念に行う姿に、「子どもたちの健康を守る」というスタッフの方々の強い思いを感じました。

